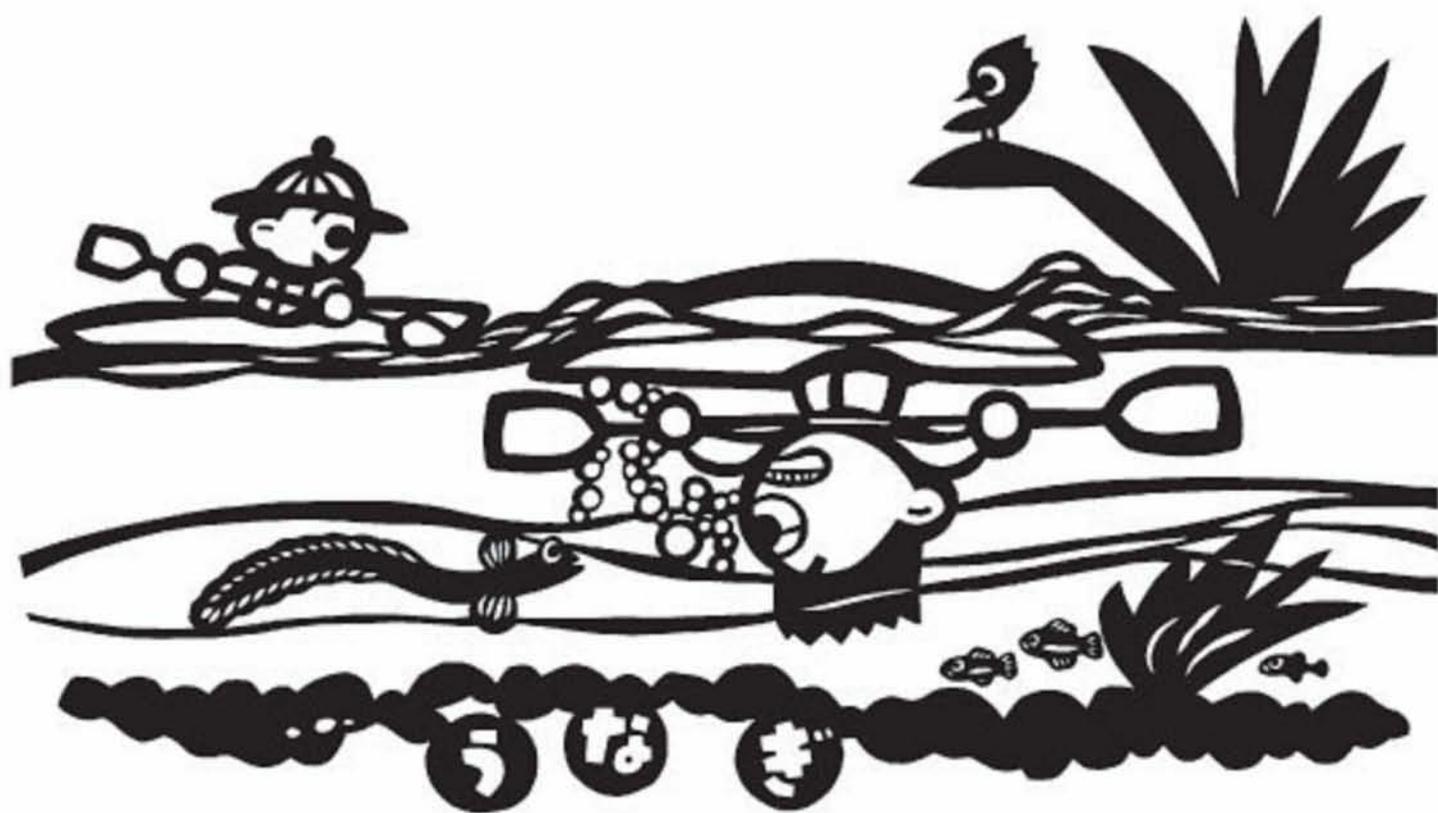


THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん

発行●新河岸川流域川づくり連絡会 新所沢事務所
住所●埼玉県所沢市弥生町2935-6 山口ビル1F TEL/FAX 042-994-3212
発行日●2003年(平成15年)9月3日

VOL. 22



切絵 毛利将範

夏休みも終わり、新河岸川流域リレーフェスティバルも残すはフォーラムのみとなりました。最寄の川まつりに参加して、川の楽しさを知ってしまったあなた。今度は新河岸川流域フォーラムで、川の姿に迫ってみませんか。フォーラムに参加して、川を知れば、新河岸川流域での川のイベントがもっと楽しくなりますよ。

目次

- P2-3 新河岸川流域リレーフェスティバル報告
落合川「第10回わくわく川掃除&川あそび」
- P4 新河岸川流域リレーフェスティバル報告
柳瀬川(志木)「柳瀬川・川まつり2003」
- P5 東京都からのお知らせ
- P6 埼玉県からのお知らせ
- P7 新河岸川流域フォーラムのお知らせ
新河岸川流域川づくり連絡会報告
- P8 流域イベント・インフォメーション
新所沢事務所通信

とくしゅう 新河岸川流域 リレーフェスティバル!

7月20日(日)の富士見江川と落合川の川まつりをかわきりに、新河岸川流域リレーフェスティバルが始まりました。川にすむ生き物たちとのふれあいはもちろん、川ごとにさまざまな川遊びが楽しめます。今回は東久留米市の落合川で開催された川まつりの様子をご報告します。

***** 2003年 第10回わくわく川掃除&川あそび *****

川をきれいにして川で学び遊ぼう

日時：7月20日(日)・21日(祝)
会場：不動橋広場(東久留米)
内容：

前夜祭 7月20日(日)

- 17:30~19:00 コンサート
①和太鼓演奏 ②沖縄島唄
③アカペラゴスペルソング
④フォルクローレ
19:15~20:45 野外映画会
①かんいりオタマジャクシ
②キツツキ計画 ③ドナルドダック
④チャップリンのカルメン

●同時開催

- ・クリーンエネルギーフェア
- クイズに答えて素敵な賞品ゲット!
- 水力発電模型展示
- ・総合治水パネル展示

川あそび 7月21日(祝)

- 10:00~川そうじ
落合川 上流：子ども 下流：おとな
黒目川 上流：おとな 下流：子ども
11:30 川そうじ終わり
11:30~豚汁無料・不動橋広場で各自昼食
12:30~太鼓演奏(ラッコの会)
主催者挨拶
東久留米市長挨拶
北多摩北部建設局職員挨拶
13:00~落下傘花火打ち上げ
川あそび開始
ゴムボートのり・水ガキ講座
ほかけ舟づくり・一本橋わたり
15:00 川あそび終了
水ガキ大賞発表



川遊び当日はあいにくの雨。小雨のなか始められた川そうじが終わるころには天候も回復し、子供たち待望の川遊びも無事に行われる運びとなりました。



川の底に洗っていたビニール袋や空き缶などを丁寧に取り除く子供たち。



(上) 市長あいさつ
(右) 主催者あいさつ



川遊び開始の合図と同時に落下傘花火と風船を大空へ。

●川遊び本番

午後の川遊びでは、水ガキ講座をはじめ、さまざまな川の遊びが体験できるとあって、子供たちも大喜びでした。



(右) 本郷より下流ではゴムボート遊びが体験でき、年長の子供たちが小さな子供たちを助けて川下りを楽しんでいた。

(下) 共立橋付近で「一本橋渡り」にチャレンジする子供たち。滑って川に落ちても楽しそうでした。



●総合治水パネル



川べりには、総合治水がやさしく説明されたパネルが並びました。

●クリーンエネルギーフェア

同時開催のクリーンエネルギーフェアでは、次世代エネルギーの紹介や水力発電模型の展示が行われました。

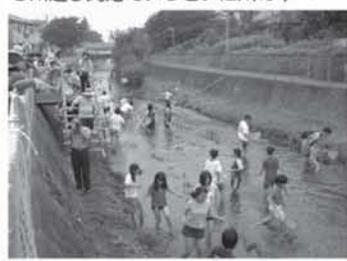


(上) 川に設置して発電できる超小型水力発電装置

(右) 新エネルギーに関するクイズに答えて商品ゲット!



●川遊び開始でいっせいに川の中へ



●落合川・黒目川の魚たち



●ラッコの会による太鼓の演奏



●無料で配られた豚汁に舌つみ





夏の到来とともに開始した新河岸川流域リレーフェスティバル。リレーも中盤に差し掛かった8月10日(日)は埼玉県志木市の柳瀬川で川まつりが開催されました。当日は台風一過の晴天に恵まれ、子供から大人まで総勢220名の参加者が集まり大賑わいでした。



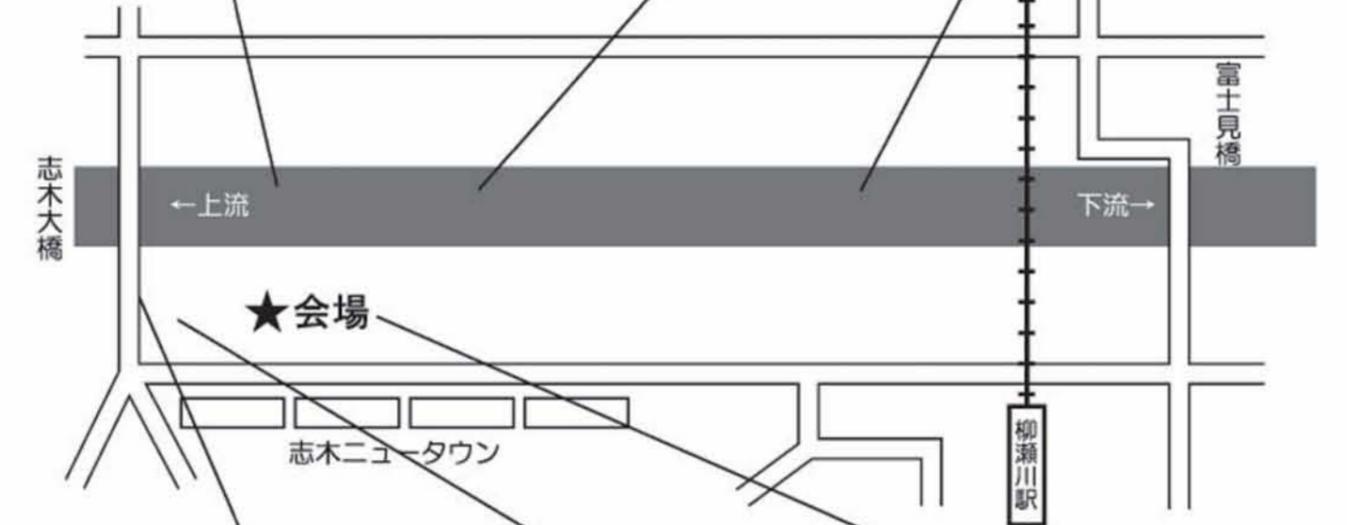
 * 柳瀬川・川まつり2003 *
 * 『柳瀬川たんけん隊』 *
 * 夏の一日、川であそんで、自由研究もやっちゃおう!! *
 * 日時：8月10日(日) *
 * 会場：志木大橋付近(志木) *
 * 内容：水中ビデオ観察、投網実演、水生生物しらべ *
 * 魚しらべ、カヌー遊び、石ころお絵描き *



(左) スタッフによる投網の実演
(下) 投網の中にはモツゴなどの魚が数匹みられました



(左) 小学4年生以上の希望者にはカヌー講座も開かれました
(下) 水生生物しらべでは、ウズムシやヒルなどを見つけ、顕微鏡で観察しました



ビデオ撮影された川の中の様子を観察する参加者たち



河原の小石に絵を描く子供たち



本館前には柳瀬川に棲む生き物や各種パネルが展示されました

東京都からのお知らせ

「東京の川を考えるシンポジウム2003」実施報告

—柳瀬川金山調節池の取組みを紹介しました—



富田公三さん発表風景

河川愛護月間である7月、全国で河川愛護に向けた様々なイベントが行われました。この月間は、国民の生活環境がより一層豊かで住み良いものになるよう、昭和49年に建設省(現国土交通省)が広報活動の一環として制定したものです。また、近代河川制度100周年となった平成8年度には、七夕にちなみ7月7日を「川の日」としました。

東京都建設局でも、河川愛護月間の7月に河川愛護の意識を高めることを目的とした、川に関する行事を多数

実施しました。その一環として、7月11日に「東京の川を考えるシンポジウム2003—憩い、にぎわいのある川づくりにむけて—」を開催しました。

第1部は、評論家の川本三郎さんの基調講演「映画に見る東京の川と暮らし」と題して、映画のワンシーンに出てくる、都内の川や橋を紹介し、撮影当時の時代背景や、出演された俳優たちのエピソードをお話していただきました。第2部は、東京の川づくりに参加している流域連絡会や市民団体の方たちから、活動報告や河川愛護に向けた提言等の発表を行って頂きました。発表していただいた団体は、名橋「日本橋」保存会、隅田川市民交流実行委員会、野川流域連絡会、金山調節池ワークショップでした。

金山調節池ワークショップからは、富田 公三さんに「柳瀬川金山調節池の湿地性生態系を保全する地域の取組み」と題して、金山調節池に生息する野鳥、昆虫、植物などの紹介やそれらの生態系を保全するための清掃作業や、繁茂する雑草の除去作業などの興味深い活動内容を発表していただきました。

当日会場は、220名を超える聴講者が参加し、配付資料も足りなくなるほどの盛況で、川への関心の高さが伺えました。

このイベントを通じて、川にまつわる興味深い話や、住民参加型の川の活動を知ってもらい、より東京の川に関心を抱いていただけたものと考えています。また、このシンポジウムの成果を活かし、より良い東京の川づくりにつなげていきたいと考えております。

最後に、シンポジウムに賛同していただき、講演・発表していただいた方々、並びに、運営にあたりご尽力いただいた多くの方々に深くお礼申し上げます。



シンポジウム講演風景

埼玉県からのお知らせ

あぐま 東川の地下河川工事 シールド発進！

8月23日(土)、所沢市宮本町1丁目の東川地下河川第3流入立坑現場で、直径4.0メートルのシールド工事の発進式が行われました。

当日は、青木副知事や斎藤所沢市長をはじめ、関係者40名が出席し、発進開始ボタンのスイッチオンや久寿玉開披などの記念式典が行われました。また、地元、重松流の力強い祭囃子や、所沢フィニッシュ少年少女合唱団の美しいコーラスが記念行事として行われ、発進式に彩りと華が添えられました。



Q 東川ってどんな川？

東川は、狭山湖付近に発し、所沢の中心市街地を東に流れ、坂の下地先で柳瀬川と合流する延長12.6kmの一級河川です。

また、近年の市街化の進展に伴い、河道周辺が宅地化され、所沢中心市街地などで、たびたび浸水被害が発生しています。

Q どうして地下河川をつくるの？

東川は、川沿いに住宅が密集しており、川を拡幅することが大変難しくなっています。また、西武新宿線より下流沿川には、東京オリンピック記念の桜並木があり、春の桜の名所として、人々から広く親しまれています。

そこで、良好な景観を保全しつつ、早急に浸水対策を実施するために、所沢中心市街地の東川直下に地下河川を建設することになりました。

この地下河川は、環境保全と、浸水対策を両立させる新しい手法といえます。



新河岸川流域リレーフェスティバル 新河岸川流域フォーラム 「キラリはっけん！ わたしたちの川」

9月7日(日) 9:00~16:00
東久留米市役所集合 (雨天決行)



新河岸川流域フォーラムで
夏の終わりに楽しい思い出をつくろう！

プログラム:

- 川を歩こう フィールドワーク「黒目川」「落合川」
- 川を知ろう 講演会「川であそべばこどもも元気に・川も元気に」
(NPO法人エコ・コミュニケーション代表 森 良さん)
- 川を遊ぼう ワークショップ
「むかし・いま・みらいの川を描く」

- ・主催：新河岸川流域総合治水対策協議会
新河岸川流域川づくり連絡会
- ・申込み：事前申込み制 定員120名(9月3日必着)
※申し込みハガキは最寄りの行政機関(市・区役所など)にて入手してください。
- ・お問い合わせ：TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
E-Mail:shingashi@ara.or.jp
URL:http://www.ara.or.jp/araage/shingashi/
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)

新河岸川流域川づくり連絡会 報告

平成14年度 第7回

新河岸川流域川づくり連絡会とは？

国土交通省荒川下流河川事務所と市民の方々との情報交換の場として定期的に開催しています。参加を希望される方や、詳細につきましては、荒川下流河川事務所(TEL03-3902-3220)または新所沢事務所(TEL042-994-3212)へお問い合わせください。

平成14年度 第7回新河岸川流域川づくり連絡会

第7回新河岸川流域川づくり連絡会が、以下の日時で開催されました。第7回連絡会では、フォーラム開催に向けて、フォーラムのテーマ、開催形態等について協議が行われました。協議の内容につきまして、以下に記します。

1.日時：平成15年5月15日
19:00~21:00

2.場所：新所沢事務所

3.川づくり連絡会での主な意見

●第7回川づくり連絡会 議事要旨●

(1)フォーラムの会場について
・落合川、黒目川の両方をフィールドワークの会場に想定した場合、中央公民館が最適である。

・市民プラザについては、約200人を収容できるスペースがある。
○フィールドワークの場所について
・落合川と黒目川では川の形態が違う。落合川は完全に湧水なので水温が低い。両者では棲息する魚も全く異なる。

(2)フォーラムのプログラムについて
○講演会について
・川づくり連絡会のイベントとして、最後は総合治水につなげるためにも講演会があった方がよい。

○その他
・新河岸川本川および荒川本川との関連

づけを図るために何か工夫をする必要がある。

・各支川の川まつりの結果をパネル展示すると面白いのではないかな。

○まとめ

・大枠としては、午前にはフィールドワークをし、集材集めをする。午後には専門的な講師の方を招き、話をさせていただく。その後でワークショップに移り、現状の川および将来の理想的な川について計2枚の地図を作る。最後に発表会とスタンブラリーのようなものを予定する。また、終了時間はあまり遅くならないようにする。

(3)フォーラム後のつなぎについて

・フォーラム後には、上級者向けの勉強会の他に、子供達や初心者も継続して興味をもてるような仕掛けをする必要がある。
・各支川で企画しているイベントをリレー化ということできると、フォーラム時に紹介することもできる。

・各流域の市民まつりに掛けるのはどうか。東久留米市では、今年度は水と緑で1年間企画しているの、面白くなる。
・川に関する質問を募集してその回答も含めてまとめて入れたり会場で発表したり、川への思いなどのコンクールを開催するなど、フォーラムに参加しない人も楽しめる工夫をするのとよいのではないかな。

(4)その他

○ファシリテーターについて
・ファシリテーターは人づてに川のネットワークを使いながらお願いすることに

なる。

・本欄に近いファシリテーターを1グループに1人でも入れると我々の勉強になる。また、新しい人には、ファシリテーターの補助についてもらう。

○参加人数について

・ファシリテーターの人数や保険の費用もあるの、ある程度参加者の数を把握する必要がある。事前申し込み制をとったほうがよい。

・事前申し込みの時にハガキに質問や意見などを記入してもらい、文集やパネルといった形で紹介するのはどうか。

平成15年6月10日 第8回新河岸川流域川づくり連絡会議事録は次号に掲載いたします。



第7回川づくり連絡会のようす

● Information

イベントカレンダー

◆ 下水処理施設見学会

- ・日時：9月8日・9日・10日
午前の部：10：00～／午後の部：13：30～
- ・見学会場：新河岸川処理センター（和光市）
- ・申し込み方法：直接、電話またはファックス
詳細についてはお問い合わせください。
- ・申し込み＆問い合わせ：TEL048-466-2400
FAX048-466-2401
（財）埼玉県下水道公社荒川右岸支社）

◆ 第43回「下水道の日」標語作品コンクール

- ・募集内容：日常生活における下水道に関する事柄について、自由に発想・表現した標語
- ・応募資格：埼玉県内に在住、在勤、在学の方
- ・応募締切：9月16日（火）必着
- ・応募方法：ハガキ1枚につき、1作品を記入し、住所・氏名・ふりがな・年齢・職業（児童/生徒の場合は、学校名・学年・組を記入）・電話番号を明記の上、郵送または持参。また、Eメールでも応募可能。
※連名による応募はできません。
- ・送付先：〒338-0837 さいたま市桜区田島7-2-23
（財）埼玉県下水道公社総務課
作品コンクール担当宛
master@saitama-swg.or.jp
- ・発表・表彰：入賞者には10月上旬に通知。11月8日（土）にさいたま市浦和区内（詳細未定）にて表彰予定。
- ・お問い合わせ：（財）埼玉県下水道公社048-838-8585

◆ 柳瀬川源流部の魚類調査

- ・日時：9月21日（日）9：45
- ・集合場所：所沢駅東口階段下
詳細についてはお問い合わせください。
- ・主催：所沢源流の会
- ・申し込み＆問い合わせ：TEL042-923-8946（小黒）
j-oguro@mvj.biglobe.ne.jp

■ エコシティ志木 イベント情報

◆ こどもとおとなの自然塾 第4回

- 「秋の夜に虫の声を聞こうかい」
- ・日時：9月20日（土）17：00～19：00（雨天中止）
- ・集合：東武東上線「柳瀬川」駅サミット前広場
- ・持ち物：長そで・長ズボン、筆記用具など
- ・参加費：無料
- ・主催：志木市立教育サービスセンター／エコシティ志木
埼玉 県生態系保護協会志木支部
- ・申込み＆お問い合わせ：048-471-2211（サービスセンター）

◆ お宝発見ツアー

- 水とのかかわりを訪ねて 第2回 上宗岡を歩く
- ・日時：9月14日（日）13：30～17：00
- ・集合：志木市市民総合センター（048-475-0111）
- ・内容：新河岸川の旧河川や佃堤などを散策
- ・参加費：無料
（資料代・保険料等で有料になる場合はお知らせします）
- ・申込み：不要
- ・主催：エコシティ志木／埼玉 県生態系保護協会志木支部
- ・お問い合わせ：awj11624@nifty.com

*** 里川21号・訂正 ***
前号5ページの「川まつり日程」の中で「黒目川（新座）」の問合せ先に042-477-7015とありましたが、正しくは048-477-7015の誤りでした。読者および関係者にご迷惑をお掛けしたことを深くお詫びし、訂正いたします。

新所沢事務所

里川しんぶんについてや、活動についてのお問い合わせは、新所沢事務所まで、お気軽にどうぞ！

● 開館時間 ●

月・水・金曜日	午後1時～午後5時
土・日曜日・祝日	午前10時～午後5時
火・木曜日	休館

会議などご利用になる場合は、開館時間の変更も可能です。ご利用の方は新所沢事務所までご連絡ください。

〒359-0043 所沢市弥生町2996-6 1F
新河岸川流域川づくり連絡会 新所沢事務所
TEL/FAX 042-994-3212

「里川しんぶん」掲載情報を大募集します！

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAXで新所沢事務所までお寄せください。



西武新宿線「新所沢」駅 徒歩4分
所沢市弥生町2996-6 山ロビル1F